競技・審判上の注意

１．　本大会は、２０２６年度（公財）日本バドミントン協会競技規則、同大会運営規程及び同公認審判員規程により行います。

２．　マッチ開始前に棄権する場合は、各都道府県代表者が所定の棄権届を該当会場大会本部へ提出してください。

　マッチ開始後に棄権した場合は、各都道府県代表者（代理人可）もしくは、当該プレーヤーが、レフェリーに所定の棄権届を提出してください。

３．　マッチを棄権した場合、それより後の同一種目及びエントリーしている他の種目全てにおいて出場できません。（ダブルスの場合、棄権したプレーヤーのパートナーは除く）

　ただし、棄権行為が本人または本人以外の者を有利にする目的でなく、正当な理由をもった棄権行為としてレフェリーが判断した場合、レフェリーの判断により棄権後の他のエントリー種目に出場することを認めることがあります。（大会運営規程第１９条）

４．　競技の品位を保つため、競技中は（公財）日本バドミントン協会の審査合格品の競技用ウェア・シューズを着用してください。着衣上の表示（文字列、広告、ロゴ、番号など）については、大会運営規程第２４条を遵守してください

　上衣の背面上部より３箇所までに認められた文字列の表示の１つには、必ず都道府県名を明記してください。文字列の表示については、大会運営規程のとおりです。

　ゼッケンを使用する場合には、縦 15ｃｍ×横 30ｃｍ程度の大きさとし、必ず四隅を固定してください。

５．　マッチの進行は、マッチ番号順に空いたコートから入れていきます。本部より、試合のコール後、１０分経過しても当該プレーヤーがコートに入らない場合は、レフェリーの判断により「棄権」とすることがあります。

６．　マッチが連続することになった場合は、原則としてマッチ終了後、１５分の間隔を置き、次の試合を始めます。

７．　マッチ試合前のウォーミングアップ（練習時間）は、主審の開始指示に従い、どちらか一方が初回戦の場合と準決勝・決勝において、トスの後、「ラブオール　プレー」のコールまでの２分間とします。

　ダブルスの場合は、パートナーと、シングルスの場合は、対戦相手プレーヤーと行ってください。コーチ等のヒッティングパートナーとの練習は認めません。なお、シャトルは各自でご準備ください。

８．　審判構成は、主審、線審２名、得点表示係１名（線審と兼ねる場合がある）とし、サービスジャッジは、決勝より配置します。

９．　本大会は、大会運営上、大会に参加する出場競技者が主審、サービスジャッジを務めることが認められています。勝者となったプレーヤーは線審、敗者となったプレーヤーは主審を当該コートで担当してください。なお、準決勝以降については主管団体にて配置します。

１０．　シャトルの交換については、主審が必要かどうかを決定します。また、使用シャトルのスピードについては、レフェリーが決定します。

１１．　タオルの使用や給水については、主審の許可を得てください。

　給水容器については、スクイズボトル等のフタ付きのものとし、倒れてもこぼれないものを使用してください。なお、トレイ・カゴ等は用意しませんので、タオル・ラケット・給水容器等については、全て各自のバッグに入れ、主審台の横に置いて、競技に支障のないよう管理してください。

　なお、持込みできるバックは、１プレーヤーにつき１バッグとします。

　クーラーボックスは、コーチ席を含めて一切の持ち込みを認めません。床面を損傷することのないクーラーバッグであれば持込みを認めます。なお、試合中の氷嚢の使用については、インターバルの時のみとします。

１２．　プレーヤーが汗をかき、その汗を払い、散らしたりした場合、またはそれ以外の行為でコートやその周辺を汚すような行為は決して容認できるものではない行為とし、必要ならば競技規則第１６条第７項にそって適切に処理します。

１３．　マッチ中のケガや病気については、主審の判断によりレフェリーが呼ばれ、レフェリーがその後の判断をします。なお、マッチ中のケガや病気の応急処置は主催者で行いますが、その後の処置は、各自の責任とします。

１４．　各コートに、コーチ席を２席置きます。着席する者は、マッチにふさわしい服装で臨んでください。ジーンズ、スリッパ、サンダルは禁止とし、七分丈ズボンも認めません。（公認審判員規程第５条第１２項）

　また、コートサイドでの電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）の使用は禁止します。

１５．　競技規則で認められたインターバル時に、競技区域に入れるのは、同時に２人までとします。

１６．　マッチ中のコートまたはコート周辺で、プレーヤーの電子通信機器（携帯電話、スマートフォン、タブレット端末等）が鳴った時又は、プレーヤーがコート上でこれらの電子通信機器を使用した場合、競技規則第１６条第６項（４）の違反とみなされ、競技規則第１６条第７項が適用されます。

１７．　レフェリーにより失格を宣告されたプレーヤーは、今大会でエントリーしているすべての種目において失格となります。

１８．　空気調整装置（エアーコンディショナー）の使用に関しては、大会運営規程第１６条によりレフェリーが判断します。

１９．　マッチが終了したら、対戦相手・主審・サービスジャッジと握手するよう心がけてください。